

さいたま市立大宮八幡中学校

【学校教育目標】心豊かでたくましい、

広い世界に生きる人間の育成

学校だより **きゃら**

「大宮八幡中学校の樹」

第2号

令和7年5月7日 発行



さいたま市見沼区大字南中丸357

TEL 048-687-8800

FAX 048-687-9301

## 部活動地域展開

校長 下館 文雄

木々の新緑が一段と鮮やかになりました。4月18日（金）の保護者会や25日（金）の部活動保護者会には、多くの保護者の皆様にお越しいただきありがとうございました。子どもたちは勉強や運動そして部活動に一生懸命取り組む姿が、校舎内のあちらこちらで見られています。

さて今回は、「部活動地域展開」について説明いたします。今後の部活動は、少子化が進展し、

学校部活動を従前と同様の体制で運営することは難しくなっており、学校や地域によっては存続が厳しい状況にあります。また、専門性や意思に関わらず教師が顧問を務めるこれまでの指導体制を継続することは、学校の働き方改革が進む中、より一層厳しくなります。以上のことからスポーツ庁は、「地域の子供たちは、学校を含めた地域で育てる」という意識の下で、生徒の望ましい成長を保障できるよう、地域の持続可能で多様な環境の一体的な整備により、地域の実情に応じスポーツ・文化芸術活動の最適化を図り、体験格差を解消することを目指し、令和4年に「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」を策定し、段階的な地域展開（まずは土日）を図ることとしています。

一方、大宮八幡中学校の現状は、少子化の影響は少なくむしろ、新設小学校の開校予定など生徒数は現状維持あるいは増加が予想されていますが長いスパンで見た場合、生徒数の減少が予想されます。本年度、市教育委員会から「部活動地域展開」のモデル校として委嘱を受け、生徒がやりたい活動をより専門的に指導が受けられる環境整備について研究してまいります。これまでの部活動の概念をリセットし、学校施設を活用する地域クラブという新しい活動であることを教員や指導者、生徒、保護者が共通の概念として持つ必要があります。平日の指導者と休日の指導者が異なる部活動があることや各部の代表の保護者の方と意見等を伺うこともあるかもしれませんが、ご理解、ご協力くださいますようお願いいたします。



【部活動の様子】